

## ロシア（極東）

### 2012年上半期の極東経済

極東地域の主要州のうち、上半期の鉱工業生産が好調だったのは、沿海地方（対前年比14.2%増）、ハバロフスク地方（同12.0%増）だった。これらの地域では、発電量がそれぞれ10.6%、12.5%増となっており、幅広い産業で生産活動が活発であったものと想像される。これに対して、サハリン州では鉱工業生産が4.9%減少した。石炭生産（3.0%減）及び石油（ガスコンデンセート含む）生産（10.6%減）などが目立つ。

鉱工業生産が好調な沿海地方だが、固定資本投資は前年同期と比べて40.7%の大幅減となった。前年同期に55.0%増を記録したことの反動が表れた形となったが、APEC首脳会議に向けた様々なインフラ整備が山を越えたこと反映している。ロシアは、約5年間のAPEC準備期間に、6,600億ルーブルを投じて会議場や宿舍の他、アクセス道路や都市インフラなどの建設を進めた。準備開始当初は、会議開催までに間に合うかという心配の声も多く聞かれたが、結果的には会議までに一応の完成を見た。ただし、「仮供用」といった形になっている施設もあるようで、会議の舞台裏ではかなりの混乱があったものと思われる。

### APEC首脳会議

9月8日、9日の2日間、ウラジオストクでAPEC首脳会議が開催された。アジア太平洋地域との関係強化の起爆剤とすべくロシア政府が力を入れて準備してきたものである。

インフラについては上述の通りだが、より本質的に重要なのは、会議の中身及び成果である。今年のAPECの具体的な成果としては、54品目の環境物品リストを特定しての関税引き下げ合意が特筆されよう。そもそもAPECは自発的な取り組みを基本としており、抽象的な目標の共有を成果とすることが多く、具体的な内容を持つ合意を得るケースは少ない。その中で、今回の合意は品目リストを特定しているなどかなり具体的だ。

ところで、昨年、アメリカから議長国を引き継いだロシアは、「貿易・投資の自由化及び地域経済統合」、「食料安全保障」、「サプライチェーン」、「イノベーション」の4つを優先分野として設定した。正直に言うと、ロシアが約1年前に、この4つの優先分野を公表した際、筆者は違和感を禁じ得なかった。ロシアの政策やロシア極東での具体的なプロジェクト、さらにはそれまでのロシアのAPECにおける限られた活動などを見ても、エネルギー分野の協力を優先分野として提示してくるものと考えていたからだ。

結果的には、首脳会議の成果として取りまとめられたAPEC首脳宣言「成長のための統合、繁栄のための革新」の本文中で「APECのエネルギー安全保障を強化し、エネルギー効率を推進し、持続的発展に向けたよりクリーンなエネルギー源を発展させる」ことに言及しているほか、首脳宣言の付属文書の一つとして「APECエネルギー安全保障の強化」を採択している。

筆者は、首脳会議後に、ロシアAPEC研究センターのグレブ・イワシエンツォフ副所長と話をすることがあった。同様のセンターはAPECの各メンバーに設置されているが、ロシアでは、APECホスト国になることが決まった後、イワノフ元外相を所長とする新たな体制を構築し、機能強化が図られた。元駐韓国大使のイワシエンツォフ氏は、今年のAPECは総じて成功だった総括した。その根拠の一つとして、多くの分野の閣僚会議を主催し、アジア太平洋地域の主要プレイヤーであることをアピールできたことを挙げた。ロシアにとって、アジア太平洋地域との協力で最も重要な分野は、エネルギーと運輸だとの同氏の認識には、筆者も強く同意する。エネルギーについては、前述の通り付属文書を採択したし、運輸については当初から「サプライチェーン」として優先分野に取り込んでいた。ただし、「サプライチェーン」に関しては、筆者も準備会合的なワークショップに参加したが、必ずしもロシアの独自色を出したとは言えないと評価している。ロシアがその「思い」を形にしていくには、さらなる努力が必要だと考える。

（ERINA調査研究部主任研究員 新井洋史）

鉱工業生産高成長率（前年同期比%）

	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	11・1-3月	11・1-6月	12・1-3月	12・1-6月
ロシア連邦	8.0	5.1	6.3	6.3	2.1	▲ 10.8	8.2	4.7	5.9	5.3	4.0	3.1
極東連邦管区	7.5	2.6	4.2	22.6	17.9	3.5	7.4	7.5	6.1	7.4	1.0	0.3
サハ共和国	12.5	▲ 6.6	0.0	0.2	3.5	▲ 8.7	17.5	10.5	17.1	11.7	3.0	0.6
カムチャッカ地方	0.3	6.6	1.6	3.9	3.0	▲ 7.5	5.0	20.1	12.6	17.3	22.6	14.9
沿海地方	17.8	19.7	12.6	1.0	8.6	▲ 4.5	11.5	17.4	23.9	22.8	8.7	14.2
ハバロフスク地方	1.7	4.5	▲ 10.7	9.1	▲ 12.1	▲ 5.2	24.7	12.9	2.9	12.2	19.0	12.0
アムール州	0.2	▲ 4.3	4.7	6.4	11.5	10.6	4.6	18.0	14.2	17.2	▲ 1.1	▲ 1.1
マガダン州	▲ 4.4	2.6	▲ 11.2	▲ 7.3	1.1	5.9	3.8	7.1	▲ 1.4	1.0	32.5	11.0
サハリン州	9.3	12.7	31.1	2.1倍	▲ 13.0	21.9	1.2	2.3	0.2	1.9	▲ 6.7	▲ 4.9
ユダヤ自治州	1.0	3.0	4.2	10.5	5.2	▲ 8.3	1.2	0.4	▲ 7.6	5.6	▲ 3.4	▲ 5.8
チュコト自治管区	6.2	20.4	▲ 9.1	▲ 11.2	3.1倍	38.1	▲ 6.2	▲ 6.4	▲ 5.2	▲ 6.3	▲ 11.7	▲ 9.4

（出所）『ロシア統計年鑑（2009年版）』；『ロシアの社会経済情勢（2009年第1四半期、9月；2010年12月、2011年3、6、9、12月；2012年3、6月）』；『極東連邦管区の社会経済情勢（2010年第1、第2四半期）』（ロシア連邦国家統計庁）。

## 固定資本投資成長率（前年同期比％）

	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	11・1-3月	11・1-6月	12・1-3月	12・1-6月
ロシア連邦	13.7	10.9	16.7	22.7	9.8	▲16.2	6.0	8.3	▲0.8	2.7	16.3	11.6
極東連邦管区	40.3	7.4	2.3	18.9	7.8	29.9	▲1.9	21.4	38.0	54.5	▲8.4	▲9.2
サハ共和国	5.7	30.2	2.1	92.2	12.0	99.5	▲42.7	23.6	37.0	18.6	46.4	37.4
カムチャッカ地方	▲26.3	12.0	5.2	33.5	1.5	▲8.0	7.1	▲4.0	▲15.3	▲6.3	45.6	3.5倍
沿海地方	8.3	29.3	6.4	20.6	33.7	60.8	17.1	21.3	57.5	55.0	▲33.3	▲40.7
ハバロフスク地方	23.7	1.8	8.7	22.9	1.6	0.1	27.4	3.9	13.2	23.5	▲30.0	▲23.0
アムール州	3.2	▲5.3	5.1	38.9	21.8	34.6	14.1	36.1	2.3倍	82.2	▲26.3	▲39.2
マガダン州	15.2	5.3	23.9	28.7	2.4	▲19.6	▲19.2	0.8	96.9	48.2	48.3	50.1
サハリン州	2.8倍	1.7	0.3	▲18.1	▲6.7	▲32.1	7.8	36.6	6.6	2.0倍	23.1	31.7
ユダヤ自治州	2.1倍	54.5	▲1.2	20.3	▲18.5	▲10.2	2.1倍	28.8	3.5倍	2.0倍	▲50.8	▲39.5
チュコト自治管区	▲35.9	▲38.6	▲38.6	1.6	37.5	34.5	▲68.9	64.9	0.7	2.9倍	38.4	58.3

〔出所〕『ロシア統計年鑑（2009年版）』；『ロシアの社会経済情勢（2009年4、10月、2010年1、10月；2011年1、4、7、10月；2012年1、4、7月）』；『極東連邦管区の社会経済情勢（2010年第1、第3四半期；2011年第2四半期）』（ロシア連邦国家統計庁）。

## 小売販売額成長率（前年同期比％）

	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	11・1-3月	11・1-6月	12・1-3月	12・1-6月
ロシア連邦	13.3	12.8	14.1	16.1	13.5	▲5.5	4.4	7.2	4.7	5.3	7.5	7.1
極東連邦管区	10.3	12.5	12.9	11.2	10.4	0.2	3.4	4.4	3.5	3.3	5.6	6.0
サハ共和国	2.3	5.5	8.6	7.4	7.6	2.1	3.6	2.7	1.3	2.2	2.6	1.8
カムチャッカ地方	2.4	5.3	10.8	12.8	9.4	2.0	1.6	2.2	1.5	1.5	2.5	▲1.0
沿海地方	15.6	19.0	12.9	11.8	9.9	▲2.9	1.4	2.4	3.3	2.2	8.2	9.2
ハバロフスク地方	10.2	13.5	13.3	15.3	7.9	3.8	6.2	3.6	5.2	2.7	1.7	3.2
アムール州	16.9	10.6	13.7	12.0	12.8	▲2.5	6.0	18.7	8.4	14.0	18.4	17.5
マガダン州	2.3	8.3	9.6	10.0	3.1	▲1.4	3.7	0.5	3.6	2.1	3.4	4.4
サハリン州	14.9	14.6	22.1	7.9	20.0	0.2	1.6	3.2	1.7	1.5	2.9	3.6
ユダヤ自治州	15.2	9.5	5.4	6.1	8.1	1.9	1.5	▲0.7	1.4	0.2	▲0.6	2.8
チュコト自治管区	▲6.3	▲1.3	6.4	12.9	26.3	▲0.3	8.2	1.6	▲3.3	▲1.8	▲11.0	▲7.9

〔出所〕『ロシア統計年鑑（2009年版）』；『ロシアの社会経済情勢（2010年3、9、12月；2011年3、6、9、12月；2012年3、6月）』；『極東連邦管区の社会経済情勢（2009年版、2010年第1、第2四半期）』（ロシア連邦国家統計庁）。

## 消費者物価上昇率（前年12月比％）

	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	11・1-3月	11・1-6月	12・1-3月	12・1-6月
ロシア連邦	11.7	10.9	9.0	11.9	13.3	8.8	8.8	6.1	3.8	5.0	1.5	3.2
極東連邦管区	11.3	13.3	8.8	9.6	13.6	9.7	7.7	6.8	3.0	5.1	1.2	2.8
サハ共和国	10.8	12.1	11.9	9.0	12.5	8.2	6.0	7.0	3.5	5.4	1.1	2.3
カムチャッカ地方	11.3	21.5	11.6	10.1	14.8	10.7	10.2	5.8	1.8	3.8	0.6	1.5
沿海地方	10.8	12.4	7.1	9.7	13.5	9.5	7.0	5.6	2.1	3.8	1.6	3.3
ハバロフスク地方	13.8	13.6	8.7	9.8	14.1	9.5	8.1	7.9	3.6	6.3	0.9	2.7
アムール州	12.6	13.2	9.1	9.6	14.1	9.6	9.4	7.6	4.3	5.5	0.9	2.5
マガダン州	9.4	12.4	8.1	13.3	19.3	13.4	8.5	9.2	4.6	6.5	2.2	4.2
サハリン州	11.5	14.1	10.4	11.8	13.1	10.7	10.0	6.4	2.8	6.0	1.1	2.4
ユダヤ自治州	12.1	14.5	5.5	11.7	15.0	12.2	9.5	8.9	4.2	5.9	1.5	3.2
チュコト自治管区	11.1	15.3	11.2	7.5	9.9	17.2	1.4	5.4	2.4	4.1	1.9	4.6

〔出所〕『ロシア統計年鑑（各年版）』；『ロシアの社会経済情勢（2009年3月、2010年6、9、12月；2011年3、6、9、12月；2012年3、6月）』；『極東連邦管区の社会経済情勢（2010年第1四半期）』（ロシア連邦国家統計庁）。

## 実質貨幣所得成長率（前年同期比％）

	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	11・1-3月	11・1-6月	12・1-3月	12・1-6月
ロシア連邦	11.2	11.7	14.1	13.1	3.8	0.9	3.8	1.1	▲2.7	▲1.0	3.0	3.6
極東連邦管区	8.6	10.4	12.1	10.8	3.4	2.7	3.6	1.8	2.9	2.1	4.4	5.2
サハ共和国	6.1	5.8	6.1	5.1	8.6	1.4	2.1	3.5	4.3	2.6	3.6	5.4
カムチャッカ地方	5.9	6.8	7.1	8.7	4.9	3.6	6.4	5.2	5.1	4.1	▲4.1	▲2.7
沿海地方	14.7	15.4	15.0	10.6	4.0	4.7	6.4	1.3	9.2	6.7	6.1	5.3
ハバロフスク地方	6.9	8.5	14.3	12.1	▲4.9	8.1	5.7	▲2.0	▲2.8	▲3.2	1.5	2.5
アムール州	5.5	9.6	10.3	19.6	11.5	▲3.2	▲1.3	17.8	12.2	12.6	27.6	29.7
マガダン州	2.1	3.1	9.1	6.8	1.0	▲0.9	1.8	0.1	▲6.5	▲4.6	10.8	6.9
サハリン州	10.7	14.4	14.1	12.4	6.8	▲2.6	▲1.5	▲4.1	▲8.9	▲7.9	▲4.8	▲3.5
ユダヤ自治州	7.0	8.3	8.3	5.5	12.0	3.7	2.1	▲1.0	▲1.5	▲1.8	▲7.0	0.5
チュコト自治管区	▲5.2	17.3	7.2	4.4	5.2	▲7.9	▲10.2	▲12.5	15.1	20.9	▲9.0	▲7.0

〔出所〕『ロシア統計年鑑（2009年版）』；『ロシアの社会経済情勢（2009年4月、2010年4、7、10月；2011年1、4、7、10月；2012年1、4、7月）』（ロシア連邦国家統計庁）。

## 平均月額名目賃金（ルーブル）

	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	11・1-3月	11・1-6月	12・1-3月	12・1-6月
ロシア連邦	6,740	8,555	10,634	13,593	17,290	18,795	21,193	23,693	21,354	22,277	24,407	25,476
極東連邦管区	9,115	11,508	13,711	16,713	20,778	23,308	26,066	29,421	26,389	27,766	30,444	31,700
サハ共和国	11,315	13,437	16,168	19,409	23,816	26,570	28,630	33,289	30,061	33,327	35,500	37,523
カムチャッカ地方	12,298	15,477	18,541	21,815	27,254	31,676	36,504	39,568	35,191	37,425	39,593	41,482
沿海地方	7,033	8,926	10,903	13,174	16,805	19,002	21,895	24,433	22,290	23,080	25,249	26,141
ハバロフスク地方	8,948	11,336	12,888	15,884	18,985	20,995	23,064	26,702	23,199	24,404	27,407	28,694
アムール州	7,354	9,392	11,111	13,534	16,665	18,846	21,843	24,371	21,989	22,773	24,130	24,840
マガダン州	11,175	14,673	17,747	22,102	28,030	33,027	37,646	44,240	38,406	39,578	45,630	47,944
サハリン州	11,711	15,243	18,842	23,346	30,060	33,261	35,808	38,458	35,652	36,140	41,995	42,802
ユダヤ自治州	6,514	8,190	9,529	11,969	15,038	16,866	20,247	22,886	21,192	21,785	22,933	24,095
チュコト自治管区	18,618	23,314	25,703	30,859	38,317	42,936	47,383	54,314	46,939	50,137	56,615	60,236

〔出所〕『ロシア統計年鑑（2009年版）』；『ロシアの社会経済情勢（2009年4月、2010年1、10月；2011年1、4、7、10月；2012年1、4、7月）』；『極東連邦管区の社会経済情勢（2010年第2四半期；2011年第2四半期）』（ロシア連邦国家統計庁）。